

# 平成21年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年2月6日

上場会社名 株式会社フレンドリー  
 コード番号 8209 URL <http://www.friendly-co.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 重里育孝  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 吉村哲行  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

上場取引所 大

TEL 072-874-2747

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	11,241	—	△74	—	△67	—	△429	—
20年3月期第3四半期	12,216	△1.6	△286	—	△278	—	△217	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△29.37	—
20年3月期第3四半期	△14.86	—

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	10,669	7,579	71.0	518.28
20年3月期	11,534	8,037	69.7	549.49

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 7,579百万円 20年3月期 8,037百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,500	△10.1	△140	—	△130	—	△520	—	△35.55

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無

[(注) 詳細は、3ページ「定性的情報・財務諸表等」 4. その他をご覧ください。]

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 14,645,584株 20年3月期 14,645,584株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 20,385株 20年3月期 19,185株  
 ③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第3四半期 14,625,959株 20年3月期第3四半期 14,627,699株

### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。  
 2. 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、3ページ「定性的情報・財務諸表等」3.業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。

## ・ 定性的情報・財務諸表等

## 1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した金融危機が実体経済に大きく影響を及ぼし、株価の大幅下落や急激な円高と相俟って、景気は急速に後退いたしました。当外食業界におきましても、雇用・所得環境が厳しさを増す中、消費者の生活防衛意識の高まりによる外食支出の抑制傾向が顕著となり、経営環境は極めて厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社におきましては、当事業年度の出店・業態転換ペースをスローダウンさせ、①各業態の店舗オペレーション見直しによる運営コストの低減、②商品構成の見直しによる原価の改善と適正な粗利益の確保、③恒常化した販売促進（割引）費の適正化、④顧客満足度向上への取り組みとともに従業員満足度の向上、等の施策に全力で取り組んでおります。

当第3四半期累計期間における経営成績は次のとおりであります。

店舗展開につきましては、「団欒れすとらん ボンズ」から「産直鮮魚と寿司・炉端 源ぺい」へ4店舗を、また、「ギンガムキッチン」1店舗を「ファミリーレストラン フレンドリー」に転換いたしました。一方、不振店を5店舗（ボンズ4店舗、フレンドリー1店舗）閉鎖いたしましたので、当第3四半期会計期間末の店舗数は前事業年度末比5店舗減少し、124店舗（前年同期比7店舗の減少）となりました。

業態別には、「おいしい・たのしい・ここちいい」をコンセプトとする洋食の「ファミリーレストラン フレンドリー」47店舗、一本仕入の本マグロが好評の「産直鮮魚と寿司・炉端 源ぺい」37店舗、「和・洋・中の料理と団欒」をコンセプトとする「団欒れすとらん ボンズ」19店舗、「日本の原風景“里山”」をコンセプトとする居酒屋「和み料理と味わいの酒 土筆んぼう」18店舗、「かぐや姫の里 安芸の小京都“竹原”」をコンセプトとする「しゃぶしゃぶ・鍋 季節の和膳 竹〇屋」2店舗、「健康応援バイキング」のレストラン「ダイニング・ビュッフェ い〜とみ〜と」1店舗となっております。

消費者の外食控えや忘年会需要の減少・不振店の閉鎖による店舗数の減少等の結果、売上高は11,241百万円（前年同期比975百万円の減少）となりました。営業損失は74百万円（前年同期比211百万円の改善）、経常損失は67百万円（前年同期比210百万円の改善）となり、当事業年度の重点施策である原価の改善や人件費・広告宣伝費のコントロールが一定の効果を発現し、前年同期に比べて好転いたしました。なお、低採算店の減損損失・店舗閉鎖に伴う固定資産除却損・貸倒引当金の繰入れ等288百万円を特別損失に、繰延税金資産の取崩し等による税金費用57百万円を法人税等調整額に計上いたしましたので四半期純損失は429百万円（前年同期比212百万円の増加）となりました。

なお、「前年同期比増減」につきましては、参考として記載しております。

## 2. 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末における総資産は、10,669百万円で前事業年度末比865百万円の減少となりました。主な要因は、手許流動性の取り崩しによる借入金の返済や減損処理による有形固定資産の減少等によるものであります。負債合計は借入金の減少等により前事業年度末比408百万円減少し、3,089百万円となりました。純資産は四半期純損失等により前事業年度末比457百万円減少し、7,579百万円となりました。この結果、当第3四半期会計期間末の自己資本比率は、前事業年度末比1.4ポイント上昇して71.0%となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末比389百万円減少し、2,431百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の収支は、減価償却費302百万円、減損損失148百万円等の増加要因に対して、税引前四半期純損失344百万円、法人税等の支払い61百万円、たな卸資産の増加58百万円等の減少要因により31百万円の減少となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の収支は、差入保証金の回収154百万円等の増加要因に対して、有形固定資産の取得177百万円等の減少要因により27百万円の減少となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の収支は、長期借入金の返済等により330百万円の減少となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

第4四半期会計期間につきましても、消費者マインドの低下による影響は避けられず、厳しい経営環境が続くことが予想されますので業績予想を修正しております。

詳細は、平成21年2月6日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

② 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これによる営業損失、経常損失及び税引前四半期純損失への影響はありません。

5. 【四半期財務諸表】  
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,431,713	2,820,944
売掛金	69,812	66,067
商品及び製品	28,369	24,274
原材料及び貯蔵品	156,724	102,341
前払費用	211,528	87,155
繰延税金資産	—	57,344
その他	33,984	25,474
貸倒引当金	△90	△170
流動資産合計	2,932,042	3,183,431
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,357,203	2,555,865
土地	2,314,619	2,314,619
その他(純額)	376,122	461,041
有形固定資産合計	5,047,946	5,331,527
無形固定資産	58,145	59,809
投資その他の資産		
投資有価証券	124,795	170,645
差入保証金	2,239,066	2,447,723
その他	336,574	341,836
貸倒引当金	△69,000	—
投資その他の資産合計	2,631,436	2,960,205
固定資産合計	7,737,528	8,351,542
資産合計	10,669,571	11,534,973
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	447,556	419,769
1年内返済予定の長期借入金	440,000	440,000
未払金	458,629	486,526
未払法人税等	38,951	60,697
店舗閉鎖損失引当金	—	9,780
その他	60,899	62,784
流動負債合計	1,446,036	1,479,557
固定負債		
社債	600,000	600,000
長期借入金	660,000	990,000
繰延税金負債	18,534	37,170
再評価に係る繰延税金負債	210,927	210,927
その他	154,177	180,225
固定負債合計	1,643,639	2,018,323
負債合計	3,089,675	3,497,880

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,975,062	3,975,062
資本剰余金	3,058,146	3,058,146
利益剰余金	1,449,715	1,879,279
自己株式	△10,401	△9,921
株主資本合計	8,472,522	8,902,566
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	38,337	65,490
土地再評価差額金	△930,964	△930,964
評価・換算差額等合計	△892,626	△865,474
純資産合計	7,579,895	8,037,092
負債純資産合計	10,669,571	11,534,973

(2) 【四半期損益計算書】  
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	11,241,807
売上原価	3,604,539
売上総利益	7,637,268
販売費及び一般管理費	7,711,947
営業損失(△)	△74,679
営業外収益	
受取利息	5,736
受取配当金	1,956
受取家賃	87,131
設備賃貸料	28,968
その他	12,960
営業外収益合計	136,752
営業外費用	
支払利息	20,442
賃貸費用	74,105
設備賃貸費用	28,348
その他	6,308
営業外費用合計	129,204
経常損失(△)	△67,131
特別利益	
固定資産売却益	1,238
賃貸契約違約金収入	10,000
その他	177
特別利益合計	11,416
特別損失	
固定資産除却損	51,367
減損損失	148,439
貸倒引当金繰入額	69,000
前期損益修正損	13,852
その他	5,794
特別損失合計	288,454
税引前四半期純損失(△)	△344,169
法人税、住民税及び事業税	28,050
法人税等調整額	57,344
法人税等合計	85,395
四半期純損失(△)	△429,564

## (3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純損失(△)	△344,169
減価償却費	302,439
減損損失	148,439
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△9,780
貸倒引当金の増減額(△は減少)	68,920
受取利息及び受取配当金	△7,692
支払利息	20,442
有形固定資産除売却損益(△は益)	50,128
その他の損益(△は益)	△5,037
売上債権の増減額(△は増加)	△239
たな卸資産の増減額(△は増加)	△58,478
仕入債務の増減額(△は減少)	27,786
未払消費税等の増減額(△は減少)	2,645
その他の資産の増減額(△は増加)	△5,054
その他の負債の増減額(△は減少)	△50,078
小計	140,273
利息及び配当金の受取額	2,771
その他の収入	137,443
利息の支払額	△17,733
その他の支出	△233,457
法人税等の支払額	△61,482
法人税等の還付額	1,044
営業活動によるキャッシュ・フロー	△31,141
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△177,334
有形固定資産の売却による収入	1,238
貸付金の回収による収入	1,234
差入保証金の差入による支出	△5,000
差入保証金の回収による収入	154,052
その他の支出	△1,779
その他の収入	97
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,491
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入金の返済による支出	△330,000
自己株式の取得による支出	△479
配当金の支払額	△118
財務活動によるキャッシュ・フロー	△330,598
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△389,231
現金及び現金同等物の期首残高	2,820,944
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,431,713

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 部門別売上高

(単位:千円)

期 間 部 門	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		前第3四半期累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	
	金 額	構成比(%)	金 額	構成比(%)
ファミリーレストラン フレンドリー	3,990,742	35.5	4,255,006	34.8
産直鮮魚と寿司・炉端 源べい	3,613,345	32.2	3,308,301	27.1
団欒れすとらん ボンズ	1,651,819	14.7	2,535,801	20.7
和み料理と味わいの酒 土筆んぼう	1,735,802	15.4	1,805,780	14.8
しゃぶしゃぶ・鍋 季節の和膳 竹〇屋	137,054	1.2	160,619	1.3
ダイニング・ビュッフェ い〜とみ〜と	88,578	0.8	108,114	0.9
ギンガムキッチン	24,464	0.2	43,371	0.4
合計	11,241,807	100.0	12,216,994	100.0

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 「参考資料」

## 前四半期に係る財務諸表等

## (1) (要約) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
売上高	12,216,994
売上原価	3,974,880
売上総利益	8,242,113
販売費及び一般管理費	8,528,368
営業損失(△)	△ 286,254
営業外収益	
受取利息	6,601
受取配当金	1,863
受取家賃	92,571
設備賃貸料	32,304
その他	13,741
営業外収益合計	147,081
営業外費用	
支払利息	16,532
賃貸費用	81,704
設備賃貸費用	30,256
その他	10,337
営業外費用合計	138,831
経常損失(△)	△ 278,003
特別利益	
固定資産売却益	100,555
店舗閉鎖損失引当金戻入益	52,665
役員退職慰労引当金戻入益	49,356
店舗移転補償金	52,016
特別利益合計	254,593
特別損失	
減損損失	138,964
棚卸資産廃棄損	20,664
特別損失合計	159,629
税引前四半期純損失(△)	△ 183,039
法人税、住民税及び事業税	27,017
法人税等調整額	7,287
法人税等合計	34,305
四半期純損失(△)	△ 217,344

## (2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純損失(△)	△ 183,039
減価償却費	338,506
減損損失	161,313
貸倒引当金の増減額(△は減少)	30
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△ 153,156
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△ 76,665
受取利息及び受取配当金	△ 8,464
支払利息	16,532
有形固定資産除売却損益(△は益)	△ 100,555
その他の損益(△は益)	△ 170,356
売上債権の増減額(△は増加)	△ 8,058
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 65,329
仕入債務の増減額(△は減少)	75,822
未払消費税等の増減額(△は減少)	△ 48,793
その他の資産の増減額(△は増加)	△ 111,230
その他の負債の増減額(△は減少)	130,554
小計	△ 202,891
利息及び配当金の受取額	2,830
その他の収入	292,558
利息の支払額	△ 16,187
その他の支出	△ 156,271
法人税等の支払額	△ 62,422
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 142,383
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 660,844
有形固定資産の売却による収入	100,080
貸付金の回収による収入	1,174
差入保証金の差入による支出	△ 42,410
差入保証金の回収による収入	52,538
その他の支出	△ 8,200
その他の収入	39,067
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 518,595
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	600,000
長期借入金の返済による支出	△ 330,000
自己株式の取得による支出	△ 772
配当金の支払額	△ 73,307
財務活動によるキャッシュ・フロー	195,919
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 465,059
現金及び現金同等物の期首残高	2,857,511
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,392,452